

[013_01]法政研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/14658>

出版情報：法政研究. 13 (1), 1943-03. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

改編の辭

九州帝國大學法政學會は、法律政治に關する諸學の研究を目的として昭和六年に設立せられ、爾來其の主たる事業の一として年二回に雜誌「法政研究」を刊行し、今日に至つた。然し雜誌の刊行が年二回にとどまることは、研究發表のためにも必ずしも適當とは謂ひ得ないので、其の回數の増加は屢々問題とせられながら、實現をみることを得なかつたのである。

然るに、今や大東亞戰爭の進展と共に直面せる客觀的情勢に伴ひ、一切の制度・機構は改めて反省吟味せらるべき時期に到達した。吾々は、慎重に考慮した上、雜誌「法政研究」をもつて、從來の如き研究發表の機關たる性格を保持しつゝ併せて學生訓育の具たらしめ、其の發刊を年四回にすることの適當であることを、確信するに至つた。目的の一半を學生の訓育に置くことによつて、吾々の念願とするところは、「法政研究」を通じ、講義・演習其の他の修練と相俟つてよく學生の專攻學科に關する理解を十分ならしめ、以て大學教育本來の趣旨を全うせしめんとするに在る。

今、吾々の雜誌が新しきよそほひを以て門出せんとするに當り、聊か意の存するところを述べて改編の辭とする。

昭和十八年二月廿五日